

SDGs 経営導入・産業活性化ネットワーク委員会  
(みたか SDGs 経営ネットワーク)  
令和5年度の取り組みについて

市内事業者が将来に渡って持続的に成長・発展し続けることを目指すため、令和5年度から「SDGs 経営導入・産業活性化ネットワーク委員会（通称：みたか SDGs 経営ネットワーク）」を組織し取組を開始した。

令和5年度の取り組み状況は以下のとおり。

## 1 勉強会

### (1) セミナー『中小企業のための SDGs 経営を学ぶ』

#### ア 日程

令和5年12月4日

#### イ 会場

三鷹産業プラザ 703 会議室

#### ウ 参加者数

14 人

#### エ 講師

日景 聡氏（中小企業診断士）

#### オ 内容

- (1) SDGs が必要とされた理由と可能性
- (2) 中小企業経営での SDGs 導入メリット
- (3) 業種・業態ごとの事例紹介
- (4) SDGs 経営の取り組み手順

#### 【まとめ】

講師の説明により、SDGs の基本的な内容を理解できたとともに、経営に取り入れることによるメリット・効果について学んだ。

SDGs に取り組むに当たっては、誰をターゲットにするか考えることからスタートする必要がある。また、経営陣だけでなく、従業員と一緒に問題提起、未来像を考えていき「自分ごと化」することが重要であることなどを認識した。

本セミナーを通じて、これまで「モヤっと」していた SDGs の全体像を明確化でき、今後の取組に向けて各委員が理解を深めるきっかけとなった。



## (2) 山田設備工業株式会社（日野市）の取組の説明&意見交換会

### ア 日程

令和5年12月18日

※第4回委員会内において実施

### イ 会場

三鷹産業プラザ 703 会議室

### ウ 参加者数

17人

### エ 講師

山田設備工業株式会社 代表取締役 山田 有司氏

### オ 内容

山田設備工業株式会社の山田社長に、SDGs に関する取組や SDGs 宣言に係る手続き等について講演いただいた。その後、意見交換を実施。



### 【まとめ】

SDGs に取り組むことのメリットとして、①会社の組織及び資材・機材等の状況を掘り下げる事で、必要な物といらぬ物を仕分けできる、②無駄を省くことで、仕事の合理化により生産性が上がる、③従業員と一緒に取り組めるので結束力が上がる、④会社の規律等の見直しができる、⑤雇用情報に SDGs を入れると問い合わせが増える、⑥銀行等の信用度が上がるなど、実際に SDGs 宣言や各取組を行う企業による貴重な意見を聞くことができた。

また、同社が登録を受けている「日野市 SDGs 推進事業者」に係る説明があり、三鷹市における同制度の導入など新たな取組検討のきっかけとなった。

## 2 視察（株式会社スリーハイ（横浜市））

### (1) 日程

令和6年2月28日

### (2) 視察先

株式会社スリーハイ

所在地：神奈川県横浜市都筑区東山田 4-42-16

### (3) 参加者数

14人

### (4) 内容

#### ア 視察先について

- ・工場と住宅が混在する地域に立地する工場でヒーターの製造・販売を行う
- ・ショールーム兼コミュニティカフェをオープンし、本業を通じた経済・環境への取り組みに加え、地域とのつながりを大切にしている。
- ・地域コミュニティとの連携や地元中高生等との関係性を重視した取り組みを行っている。
- ・横浜市 SDGs 認証制度「Y-SDGs（上位 Superior）」等を取得

#### イ まとめ

同社は「ものを想う。ひとを想う。」を経営理念とし、主力商品である産業用ヒーターの製造・販売を行うとともに、「地域とともに生きる」ことに真剣に向き合い「こどもまち探検」をはじめとする地域活動を積極的に行っている会社であった。

住工混在地域で運営するものづくり中小企業として、実際に SDGs に関する取組を行っている同社の取り組みを間近で見ることが出来たことや地域活動、社員教育などについても学ぶ機会となった。

また、中小企業としての悩みや考えを意見交換でき、有意義な視察となった。

